



平成31年3月5日

県内60歳以上のアクティブシニア1,000人を対象に 日常生活・社会参加活動について意識調査を実施しました!!

■調査の目的

高齢者が心身共に健康で、生きがいを持ち地域の担い手として活躍していただくための諸方策を検討するため、当財団の事業参加者から、今後地域の担い手として活躍が期待される60歳以上の人を対象に、「健康、生活、生きがい活動等」に関するアンケート調査を実施しました。

■調査対象 1,000人

当財団の事業参加者から60歳以上の人を無作為に1,000人抽出し、「60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳～79歳、80歳以上」の5段階の年代に区分。

■調査内容

- ア 基本属性に関する事項
(健康・幸福感等)
- イ 日常生活に関する事項
(生活での不安や悩み、終活、財産相続等)
- ウ 社会参加活動の実態に関する事項

■主な調査結果（要旨）

①毎日の生活の中で感じる不安や悩みの
具体的な内容は何ですか

「自分の健康や病気」72.2%、

「自分の将来や生きがい」32.7%、「身近な人の死や病気」29.5%

②「終活」がブームになっていますが、「終活」という言葉を知っていますか。

「知っている」90.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」9.0%

③あなたは「終活」を行っていますか

「現在予定はないが、時期がきたら始めたい」46.7%、

「近いうちに始める予定である」20.5%、

「すでに行っている」18.9%

④「終活」を行っている理由、近いうちに始める理由は何ですか

「残された家族に迷惑をかけたくないから」88.4%

「病気やケガ等で寝たきりの介護生活になった場合に備えるため」53.3%

「自分の人生の終わりは自分で決めたいから」36.3%

⑤財産相続にあたり、不安や心配事はありますか

「特に不安や心配事はない」68.5%、

「家族又は身近な人と話すきっかけがみつからない」9.4%、

「財産相続のことが難しくてよくわからない」8.5%